

#### 【スーパードリルのセッティング方法について】

1. 先端のダストシールを取り外し、受けピース（受け板）も取り外します。
2. 作業に適したボディをドリル本体に取り付けます。この時、工具を使用せず、手締めでネジを締め付けます。
3. ボディに適した受けピース（受け板）をボディの先端を通しながら取り付けます。
4. ボディに専用のビットを取り付けます。
5. ダストシールを取り付けます。この時、取り付ける位置に注意してください。  
※ダストシールの突起物を本体の溝に差し込んでください
6. ドリル本体の右側にあるストッパーネジの六角ボルトを緩め、穿孔長を調整します。  
ストッパーネジを前にずらすと穿孔長は短くなり、後ろにずらすと穿孔長は長くなります。  
調整後、六角ボルトをしっかりと締めてください。  
※ビットは、消耗と同時に徐々に短くなります。予め、刃先の長さ程度、余裕をもって調整してください。
7. ドリル本体のノズル差込口（ノズルブッシュ組立）にスパイラルチューブを挿しこみます。  
挿入後、本体からチューブを軽く引っ張り、抜けないことを確認してください。
8. 7で取り付けたチューブの反対側にあるプラグ（マイクロカップリングプラグ）をボンベホルダー上部のカプラー（マイクロカップリングソケット）に差し込みます。  
この時、カチッ！と音がしたことを確認してください。
9. ボンベホルダーのフタを開け、冷却剤ボンベを静かに入れてください。冷却剤は、必ず、2本セットで入れてください。セットをしたら、静かにフタをしめます。

#### 【作業終了後のメンテナンス方法について】

1. ボンベホルダー上部のカプラーの両端を指でつまみ、下にスライドをさせて、チューブの先端についているプラグ（マイクロカップリングプラグ）を抜きます。  
ボンベホルダーのフタを開け、使用前にボンベに付いていたキャップを取り付けます。
2. チューブ内に残っている冷却剤は、長期間放置しますと液詰まりの原因となりますので、ドリルの先端を壁等に押し当てて、チューブ内の冷却剤を完全に出し切ってください。
3. スーパードリルの汚れている部分をウェス等で良く拭き取ってください。拭き取り後、金属部（ユニット部・ガイド部・受けピース）には、防錆剤や潤滑油を吹きかけ、次回の使用時にスムーズな動作となるようにしてください。